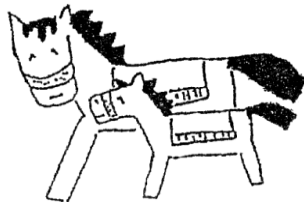


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポッキリ、ポッキリと



22年 12月 NO. 193

(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857

<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～		<b>12月の主な活動</b>		～お気軽にどうぞ～
12月 4日	土	実用書き講座 14:00～16:00		年賀状を書いたり宛先の練習をします。
12月 6日	月	香川みすゞさんの会 14:00～16:00		大熊先生（小学校教諭）から現場のお話をお聞きます。
12月 10日	金	おはなしの会 10:00～11:30		一年も終わりますが、どんなお話が出てくるか楽しみです。
12月 11日	土	体験保育 10:00～12:00		同じ年齢のクラスに入っていっしょにあそびましょう。
12月 11日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00		体内臓器のマッサージ効果もありますのでどうぞ。
12月 18日	土	体験保育 10:00～12:00		出産予定の方も保育体験においでください。
12月 18日	土	ヨガで身も心も軽く 14:30～16:00		体の内部から温かくなります。
12月 24日	金	健康・育児相談 11:00～12:00		小児科園医師にゆっくり相談できます。（予約要）
12月 26日	日	創立64周年記念発表会 9:00～13:00		アルファーあなぶきホール、小ホールにて9時半から始まります。

・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)  
・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。  
(但し、月・日曜・祭日は休み)

## 育児相談（月～土）9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、保育園生活、入園・見学についての相談もどうぞ。

金子みすゞ  
童話全集4  
空のかあさま・下より

お知られか  
家のない旅のひと、  
のみをきかないか。

はらりはらりと散る柳、  
ちろりちろりとつく灯。  
ともし

すねてお家をぬけたゆえ、  
秋の夕ぐれ、四つ辻に。

お知らぬか  
うちの客さま、  
のみをきかないか。

四つ辻?



# 子ども時代を楽しく — それは一生の宝 —

中村 征子（青山学院女子短期大学非常勤講師）

今年、ある学生が出席カードの裏に記したメモ程度の言葉が、今でも“のど元に刺さった魚の小骨”のようにひっかかっています。

「絵本に悪いものなんてないと思う。多くの人の手によってつくられたものだから、どれも子どもにとって悪いものではないと思う。いい悪いではなくて、年齢に合っているかが問題なのではないか」これは、「子どもにとっていいと思える作品とは、どんな内容のものだろう」と投げかけた日の出来事でした。

その学生のメッセージは、私にいろいろな事柄を思い起こさせました。まず頭の中をよぎったのは、出版物のことではなく、私たちの身の回りにあふれている便利な食品のかずかずや、ゲームなどのおもちゃ類でした。

次に思い浮かんだのは、石井桃子さんの言葉です。

子どもたちよ  
子ども時代を しっかりと  
たのしんでください。  
おとなになってから  
老人になってから  
あなたを支えてくれるのは  
子ども時代の「あなた」です。



「いい作品が持つ要素とは何か？」を、私が一方的に語ってしまうより、少し遠回りをして、子ども理解を深めながら、学生自身が、考えていけるほうがほんものになるはず。そのためには、何を取っ掛かりにしたらいいでしょう。石井桃子さんの言葉にヒントが詰まっているようです。

幼稚園や保育園には、どんなおもちゃが置いてあるか。それらは、家庭と同じか。違うものには何があるか。園になぜ、ゲーム機はないのか。

「子どもが喜ぶものは即、いいもの」と思っていた学生は、はたと思い当たったようでした。

すると、遊びの問題も、食べ物も、絵本も、じつは同じ線上にあることがわかってくるのでしょうか。

安全でおいしい旬の食べ物、子どもたちの創意工夫でいかようにも遊べるおもちゃ、保育現場にある者は、そんなことを日々考えながら、子どもによかれと思うものを用意しているからです。子ども時代をどうすごさせるかを真剣に考えている人ほど、保育環境や保育内容に知恵を絞っているはず。

テレビやアニメなどメディアが子どもにもたらす影響の大きさには、誰しも危機感を持っていますが、すべてが悪いわけではありません。誰しも、その時代の子ども時代を送ります。日頃、意識をしていなくても、好きだった遊びや、味覚や色の感覚、季節感や動植物に寄せる思いなどが、かなりの部分、子ども時代に培われたものだと、ふと感じることがあります。

春になると、待っていたように筍を何度も食し、夏には薬味をいろいろ用意して、そうめんを満喫する…。

保育士や調理に携わる人たちは、味覚もまた子ども時代につくられるとわかっているから、子どものときに新鮮な素材を、手をかけて食べさせてやりたいと考えているわけです。そうやって、一つひ

とつ考えていくと、人間の基礎をつくる子ども時代の大事さが、学生たちに認識され直すのでしょうか。

ある学生がいました。

「そういえば、子どもの頃は、よく外で遊んだ。自分が今、保育者をめざそうとしているのは、子どものときの楽しさがあるからなんだ」

他の学生は、こういました。

「私が保育者になろうと思ったのは、保育園のときの先生が本当にやさしくて、大好きだったから」子どもの頃の楽しかった体験が、大人の今を支えているというのは本当なのですね。だとすると、子どものときに、たくさん体を動かしたり、絵本を読んでもらったりすることは、とても大事なことなのではないでしょうか。

時代が移り変わっても、子ども時代に体験させてやりたと思う事柄は、昔も今もそう変わりはないはずです。その後、学生たちの絵本を見る目に、“子どもにとって”という視点が深まったように思います。

— 保育通信 11月号より —

10月10日(日)、当園の運動会は、前日大雨だったので、旧新塩屋小学校の体育館で行うよう9日から準備をしました。ところが、当日はだんだん天気がよくなって昼ごろには暑い陽ざしが運動場を照らしていました。それでも体育館でしようということになりましたが、当園の人数を考えると体育館は狭いのでプログラムを変更し、初めて3才未満児クラスと以上児クラスの2部にわかれて行うことにしました。そのような運動会に参加した保護者の皆様の感想を少しご紹介します。

#### すみれ組 (5歳児)

- ・初めての体育館でしたが、子どもたちの演技を近くで見ることができ、82歳の祖母も涼しい場所であられたこともよかったです。2部に分かれていて、子どものお弁当の時間をとることができず、それはちょっと残念。マーチングも年長者の堂々たる演技を観ることができてよい思い出になりました。
- ・ことり組の時、あんなにまぶしかった紫色の帽子をかぶったすみれ組の子どもたち。とうとう自分の子がその帽子をかぶり、運動会に出場する日がやってきました。その姿は歩いているだけで輝いていました。特にマーチングのドラムマーチでの行進では、難しいリズムにもかかわらず、皆がそろって動く姿に涙が出できました。きっとお姉ちゃんの姿が下の子にもたのしく映ったことでしょう。

#### ほし組(4歳児)

- ・天候が悪くて中止(延期)になると心配していましたが、体育館で開催してくださり助かりました(延期の場合、仕事が休めるかどうかわからないので)。毎年子どもの成長を感じる運動会や発表会は子ども以上に親の方が喜びを感じることができます。体育館でした運動会も貴重な経験でよい思い出となりました。
- ・前日の雨で体育館だったわけですが、ただでさえ狭いのに、出入口付近でお弁当を食べている人がいて、通るに通れない状態でした。最低限のマナーすら守れない人が多すぎて、とても後味の悪い運動会でした。小学生が走り回って、人にぶつかっても親は注意しない。目の前にいた保育士でさえ、注意しない。他人である私が注意したところ、何とかおさまりましたが迷惑でした。

### さくら組 (3歳児)

・はじめての運動会が体育館だったので外は晴れていたから多少水たまりがあったけど、外でしたほしかったです。でも親子での競技も大変楽しかったし、普段見れない我が子の成長ぶりが見れたので、あつという間でした。次の運動会も楽しみにしています。

・初めての体育館での運動会でしたが、楽しかったようです。緊張したのか、いつも通りとはいかないものの、家族や祖父母との時間がよかったようです。お弁当が一番の思い出のようでした。

### つぼみ赤・青 (2歳児)

・初めての体育館での運動会。未満児はむしろ体育館の方がよかったのでは?と思います。大きい子はものたりないと思いますが、理想は、わけてやってもらえれば…。

・運動会、すごく楽しみにしていたようで、トトロの踊りの練習やかけっここの練習を毎日家でもして、お兄ちゃんのチェックを熱心に聞いていました。当日、つぼみさんで集まっているところや競技をしているところを見ていると、周りの様子をちゃんと見て行動していたので、とてもビックリしました。かけっこでも勢いよく走ったものの、一緒に走っている子が来てないのに気づいて、ぐるんと後ろを振りかえっていたりして、「もーそんなコトも気づけるようになってたんだー」と感心してしまいました。未満児の競技が終わると、お兄ちゃんの応援をしながら、おにぎりを食べたりして楽しんでいました。

### はと (1歳児)

・4年目にして初めての雨による予定変更を経験しました。メールによる連絡のスムーズさや体育館での内容の充実ぶりに先生のご苦勞を感じ有難く思いました。運動場での運動会が雰囲気もあり、いいことはもちろんですが、今回は思いがけず暑いことや子どもを近くで観れることもよかったのではないかと思います。父兄として満足しています。

・体育館での運動会も短期集中できてよかったです。父親がお手伝いの方で参加しました。はじめてのことで何をどうすればいいのかよく分からなかったもので、かえってご迷惑をおかけしたのではないかと思います。事前にお手伝いのメンバーが分かっているのであれば、用具の出し入れに名前をふっていただくなどの進行のプリントが1人1枚あれば分かりやすかったかもしれません。はじめてで要領が分かっていないが為に、ずっと持ち場を離れられなかったのも、全く子どもに関わることができず、少し残念そうでした。

### つくし (1歳児)

・体育館だったのは残念でしたが結構日ざしが強かったので、ちょうどよかったかもしれません。小さい子がキョトンとしていたのが、かわいかったです。それに比べ、1才違うだけでしっかり競技しているお兄ちゃんたちの成長にびっくりでした。

### ことり (0歳児)

・7年目?にして初の体育館での開催でしたが、ことり組には衛生的に思えた上に、短時間だったので親としてもあまり疲れる事なく、気候的にも大変よかったですと感じました。

・体育館で行うのは入園して初めての体験だったので、とても不安でしたが、日ざしの心配もなく乳児にとっては過ごしやすかったので、グズることなく終わることができました。未満児と以上児の部に分かれて行ったのはとてもよかったです。今後も運動場で行う際も取り入れていただけたらと思います。